

## 5 放射線性膀胱炎に対する漢方薬の効果

みやびウロギネクリニック

井上 雅

放射線性膀胱炎は突然血尿を来し、膀胱タンポナーデになり緊急手術を要することもある。治療方法としては経尿道的凝固術、高気圧酸素治療があるが、血尿をくり返す症例も多い。この放射線性膀胱炎に対し、きゅう帰膠艾湯を処方し効果をみとめた3例を報告する。

症例① 69歳女性、53歳時に子宮頸癌で放射線治療と抗癌剤治療を施行。肉眼的血尿にて当院受診。膀胱鏡で、一部怒張した血管を認めた。出血はとまっていたため、経過観察としたが、再度血尿を認め、きゅう帰膠艾湯を開始。6週間で血尿は認めなくなり、終診となった。

症例② 45歳女性、33歳時に子宮頸癌で放射線治療と抗癌剤治療を施行。血尿を認め、当院受診。膀胱鏡で後壁を中心に血管の怒張あり。きゅう帰膠艾湯処方。6週間内服後症状改善し終診となった。

症例③ 63歳女性、41歳時に子宮頸癌で放射線治療と抗癌剤治療を施行。放射線性膀胱炎にて高気圧酸療法施行されていた。CIC中で、とくに問題なく経過していたが、最近ふたたび、血尿を認めたため、きゅう帰膠艾湯処方した。血尿あるも頻度は減少し、現在も内服中である。

きゅう帰膠艾湯は冷え症で、出血傾向のある方の、痔出血や月経障害にともなう貧血がある場合などに用いられる。血行をよくし、うっ血を改善し、貧血を補う四物湯(地黄、芍薬、当帰、川芎)に止血効果のある艾葉、阿膠と止血効果を増強する甘草が加わったものである。

このため、止血効果とその後の再出血を予防する効果があると思われる。放射線性膀胱炎は治療法が少なく、難渋することも多い。きゅう帰膠艾湯は放射線性膀胱炎の選択肢のひとつになると思われた。